

入居企業紹介 その108

SICに入居されている専門家をご紹介します。

SIC-1 302

株式会社東京IT経営センター

「儲けの仕組み再構築」



【代表プロフィール】

代表取締役 田中 渉 (たなか わたる) 71歳
鹿兒島県鹿兒島市出身。八王子市在住。
世界でも有数の透明度という海をもつ慶良間諸島(けらましょとう)で、テントを張り、カヤックやシュノーケリングなど、人の少ない所で美しい自然を楽しむことがここ数年の楽しみだそうです。西表島も好きな場所のひとつ。海外旅行も好きで、年間の予定を立てるのは奥様の役割。大学時代はオーケストラに所属し、ファゴットからオーボエに転向して、相模原市民オーケストラで活動したこともあるそうです。若い時は、山登りもされていたと言うとても活動的な田中さんです。

【起業のきっかけは？】

鹿兒島大学工学部を卒業しましたが、当時地元では理系の就職先があまり無かった為、日本ユニバック(株)(現日本ユニシス(株))に就職し、30年務めました。まだ機械式計算機(歯車などの機械要素の組み合わせにより、演算を行う計算機)が使われていた頃の事です。はじめはアメリカから輸入された機械のメンテナンスが仕事でした。富士銀行(現在のみずほ銀行)のオンラインシステムが始まった頃でもあり、メモリーが1メガと今では考えられない時代です。真空管からトランジスタそしてICへと移り変わる全ての歴史を見て歩きました。

10年程名古屋にいた頃は、大手電力会社のメンテナンスを8人でこなし、他に銀行や大手自動車会社も手掛けていました。

サンディエゴに駐在していた時、米国のベンチャー企業に関わった事があります。米国ではいつ解雇されてもおかしくないのに、経理の人間が突然今日解雇されても困ることなく、明日から他の企業から来た人がその仕事をして行ける経理システムが出来上がっていました。

「このままでは日本は負ける。」IT以前の業務の仕組みの問題だとも思いました。そんな経緯もあって、当時の55歳の部長定年を機に中小企業の支援をすることを自分の使命と考え退職、独立しました。

1998年、橋本駅近くにオフィスを借りて独立しました。はじめはローカルネットワークを構築したり、経営者にパソコンを教えたりしていましたが、3年後に経済産業省推薦資格であるITコーディネータの資格をとり、中小企業の支援を強化・拡大しました。2004年にNPO法人の設立に参加し、経済産業省主催の関東IT経営応援隊活動に参加。関東IT経営応援隊プロジェクト(地域支援コミュニティ形成事業)受託をはじめとして、地域の支援機関、金融機関と連携して地域中小企業の個別経営課題の解決支援をしています。

【事業紹介】

顧客の「儲けの仕組み再構築」を目的に次の支援サービスを行っています。

- 1.IT活用の業務変革プロジェクト支援(経営戦略、IT戦略及びシステム導入)
- 2.営業力強化支援
- 3.業務工程の見える化による課題解決支援
- 4.情報システム運用上の課題解決支援
- 5.戦略的情報活用支援
- 6.経営幹部、管理者育成(経営者コーチング)
- 7.クラウド(SaaS/ASP)ソリューションの紹介・導入支援



パートナーである全国のITコーディネータと共に、ITを積極的に活用したPDCAサイクルの仕組みの構築から運用までの支援を行う事で、企業の成長をお手伝いいたします。まずは、気軽にご相談ください。ヒアリングまたは企業力診断(無償)を行わせていただき、提案・見積もりをお出しします。

【起業家へアドバイス頂けますか？】

企業を取り巻く環境はますますスピードを上げて変化しています。しかしながら10年前の仕事のやり方と変わっていない企業が多くあります。今、企業には「変わる力」が必要です。そのためには経営のPDCAサイクルの構築など、足腰(経営の土台)を強くしなければなりません。これまでの支援経験から、土台作りの最も大事なことは人の育成と考えています。社員が生き生きしている会社が順調に伸びています。最初も人、最後も人、育てるしかない。縁があって仲間となった社員の可能性を信じ本気で育てましょう。

【これからの夢または目標は？】

東京IT経営センターパートナー登録のITコーディネータとの連携で、相模原地区のチャンネルを強化し、企業支援の機会を増やして行くことで、相模原地域中小企業の発展に寄与したいと思っています。

株式会社東京IT経営センター
SIC-1 302号室 Tel.042-775-7277 Fax 042-775-7288
URL: <http://www.infoconveni.co.jp/>

ジョブトーク! ~企業と学生の交流会~ — 開催報告 —

平成26年2月24日(月)サン・エールさがみはらにて第一回交流会を開催しました。学生24名、企業25名、大学関係者(職員)6名の方々にご参加いただきました。地元の学生主体で企画した第一部では、チームを作りクイズ対抗戦を実施。企業の方と学生と一緒に考えて、悩み、笑うことで打ち解け、第二部懇親会へ繋げることができました。そこでは、なかなか経験出来ない複数企業の方と学生と

の自由な会話が成され、時には企業の方から学生への積極的なアプローチ、あるいは自らの学生生活を照れながらも必死に説明する姿等、終始賑やかな場面が繰り広げられました。



写真は当日の様子

入居企業トピックス

○今月の掲載記事紹介○

2月の新聞紙上に掲載された企業をご紹介します。ご紹介する記事は、SIC-1と2に掲載していますので、どうぞご覧ください。

2月10日(金) Desk10 五十嵐 典子さん
相模経済新聞
相模原市で活躍する若手女性の取組

ほうこく

《第3回 ロボットビジネス研究会》



2月5日(水)、「ワーアシストハンドの研究と中小企業との共同研究について」と「福祉用具・介護ロボットの活用状況と新規参入可能性を探る」をテーマに開催したロボットビジネス研究会には、48名の参加をいただきました。

アンケートでは、生活支援ロボットについて、利用者と施設との必要性の違いや、助成金と共同研究についてなど、86%の方に「参考になった」とお答えいただきました。

《第5回 創・蓄・省エネフォーラム》



2月19日(水)、燃料電池・水素エネルギーに関わる材料面の技術開発状況と燃料電池システムの導入・普及促進の状況や、産業機器向けリチウムイオン電池製品の開発状況及びその安全性・特性評価方法について講演いただきました。

アンケートでは、類似テーマを持たれている参加者の方も多く、97%の方に「満足・やや満足」とお答えいただきました。

《第6回：子どもワークショップ

「体験！はんだごて ライトレーザ作り！」



1月25日(土)、今回は、40組以上の応募をいただき、急ぎよ午前・午後の2部制とし、各回12組の親子が参加しました。タクマ精工の白石社長から「是非、はんだ付けを子ども達に体験させてあげたい！やりましょう！」と、難易度も高く、火傷も心配でしたが、タクマ精工の社員の方々のご協力で実現しました。アンケートでは、96%の方に「満足・大満足」とお答えいただきました。

JICAアフリカ地域女性起業家支援セミナー視察報告 African Women's Business Support Seminar

1月30日(木)午前中に、エチオピア、ガーナ、マラウィ、ナイジェリア、ルワンダ、南アフリカ、タンザニアの女性起業家や政府の産業振興スタッフが来日し、SICを視察されました。(株)共立の上野社長と(株)コンテックスの近藤社長、SIC専務の山本が講師を務めました。(株)青電舎のスタッフのアリストさん(コートジボワール出身)も参加されていました。



ご案内

《第28回南西フォーラム》

- ロボットを活用したライフ&ヘルスサイエンス業界へのビジネス展開を考える & 経済産業省関連 中小企業支援策の概要 -



今回は、マッスルスーツの実機デモが行われます。当日のご来場も大歓迎です。皆様のお越しをお待ちしています。

- 開催日時 平成26年3月3日(月) 16:00~19:15
- 会場 ユニコムプラザさがみはら 入場無料

《第6回モノづくり企業のための宇宙科学研究会》

- テーマ：宇宙ロボット開発のすすめ -



ロボット技術や月惑星表面での自由な移動を可能にするロボットによる月惑星探査の変遷、日本の次期月惑星着陸探査計画などを紹介します。

- 開催日時 平成26年3月12日(水) 18:00~20:00
- 会場 相模原市立産業会館

《The HINT11 (SICミニセミナー)》

- 企業間取引での契約書のチェックポイント -



企業同士の取引では、「契約書」が必要になります。先方から「契約書」を提示され、「本当にこの契約書で大丈夫だろうか?」と不安になったことはありませんか?

今回のセミナーでは、弁護士法人高瀬総合法律事務所の高瀬弁護士に「売買契約書」「請負契約書」「機密保持契約書」を例にして、各契約書のチェックポイントと実際に起こり得る事例などについて講演いただきます。

- 開催日時 平成26年3月25日(火) 14:00~15:30
- 会場 SIC-2 大会議室

お申し込み・お問合せは、SIC-1 担当 飯山・片山まで

詳しくは、SIC ホームページをご覧ください。

大人女子のための セレクト cafe

平成26年3月14日(金)16:00~19:30 (於: SIC-3 食堂)
入居者交流会「女性限定ハンドメイド&カフェ」開催!

イベント内容: ワークショップ&カフェ

A: カルトナージュで作る
簡単フォトスタンド
500円



B: キラキラガラスビーズ
アクセサリ作り
500円



C: カラーパターン診断
300円



お申し込みは、ロビーにあります申込用紙にご記入いただき、SICスタッフまでお声がけください。
← 私たち3人が企画しました。ご参加お待ちしております!

編集後記

SICの「梅」も隣の橋本公園の「河津桜」も少しずつ咲き始めています。あの大雪から2週間、まだ少し道端に雪はありますが、春は確実に近づいています。三寒四温(真冬の季語)の季節です。追い込まれている時があって、それに耐えていれば、また温かい日もあるという気象だけでなく、日常生活の中の気持ちを表す時にも、この言葉は使われることが有るようです。 荻島